

2022年7月

Vol.36





京都信用金庫



金融教育

当 出前援業

プロジェクト



Delivery class

民法改正 成年年齢の引下げ

2022年4月1日から 成年年齢は

106

になりました



成年年齢が18歳になり、高まる金融教育の必要性

2022年4月からの成年年齢引下げにより、18歳から、クレジットカードを作るなど金融に関する様々な契約を自ら行えるようになりました。高校では金融教育が義務化されるなど、その重要性はますます高まっています。

当金庫が学生のみなさんに金融セミナーを実施

昨年、当金庫八木支店の職員が南丹市主催の「地域団体と学生をつなぐ学校体験会」に参加しました。そこで、京都中部総合医療センター看護専門学校様が「地域を知っている看護師を育てたい」と、地域とつながって体験を積む場を求めておられることを知りました。八木支店では、その思いを実現すべくプロジェクトを立ち上げ、4月の入学シーズンに同校の学生を対象に、当金庫職員が新成人向けの金融セミナーを実施しました。八木町で暮らし、学ぶ学生が、消費者トラブル等の被害に遭わないよう学校、行政、金融機関が一体となって見守っていきます。

€京都信用金庫

金融教育 田前授業 プロジェクト 金融教育を通じて地域と若者をつなぐ!

■『京都中部総合医療センター看護専門学校』様

セミナーの目的

地域貢献活動の実現



トラブル回避 成人として学生生活で 起こり得る お金にまつわる様々な トラブルを未然に

防ぐ

お金との つきあい方

京信がお金のことで 身近に相談できる 存在であることを 知っていただく

講師を務めた八木支店の職員たち



動画や実例を交えてレクチャー

お金の大切さを伝えるとともに、若者が巻き込まれやすい 消費者トラブルや多重債務問題についてレクチャーしました。





Time Schedule

- 1.京信の紹介
- 2.消費者トラブル
- 3.多重債務 (グループワーク)
- 4.ローンとの付き合い方
- 5.質疑応答

セミナーの根底には、八木町で学生が健全な学生生活を送り、卒業後も 「京都中部総合医療センター」に勤務して、地元の医療に貢献することで 豊かな人生を送ってほしいという思いがありました。また、多くの学生が 親元を離れて寮生活をされているとのことでした。新成人といってもまだ まだ若い学生であることに変わりはなく、京信はなんでも相談できる金融 機関であることを感じていただけるようなセミナーを行いました。



八木支店 清水 裕子

地域で学生を見守っていきたい!

同校ではこれまで2回のセミナーを実施させていただき ました。多くの学生さんを前に教鞭をとるのは緊張しまし たが、入念に練習を重ねることで金庫の真剣さと情熱が 伝わったと思います。どんなことでも気軽に相談してもら えるよう**京信の存在を身近に感じてもらい**、研修だけの お付き合いでは終わりたくないとの思いが一層強まりました。



VOICE

金融セミナーを終えて...

Q. 出前授業はどうでしたか?

2回生のお二人



同級生がローンで車を買ったと 聞いて、自分もそんなことがで きる年齢なんだと感じました。 「多重債務」という言葉はニュー スなどで聞いたことがあり、今 日の動画を見てその意味を理解 できました。研修でも取り上げ られていたお金にまつわる色々 な誘いは身近なところでも起き ているので、気を付けないとい **けない**と思いました。

Q. 出前授業はいかがでしたか?



教務主任 浅田先生

セミナー開催は、学生 からの要望でした。 学生の反応も「分か りやすかった」「お金 を身近に感じた」と 好評でした。

京信の職員さんは、本校の学生た ちを**家族や友人のように思って**く ださっています。コロナ禍で学生 のアルバイトが制限される等の状 況の中、心配事がある時は気軽に 相談してくださいと温かいお声が けをいただきました。

本業支援

お店紹介ムービー 探検/西院スクープ!

コロナの影響を受けた飲食店

西院は古くから交通の要所として昼夜を問わず賑わう街です。阪急西院駅の乗降客数は 1日平均約4万人と、多くの人が行き交う同駅周辺にはたくさんの飲食店があります。 しかし新型コロナウイルスの影響を受けて、人流が空洞化し、飲食店も打撃を受けました。



西院支店 中野 春香

西院支店の若手職員らが立ち上がる

コロナの影響を受けた飲食店をバックアップしたいと、西院支店の 若手職員らが立ち上がりました。創業をご支援した飲食店の紹介 **動画を作成**し、西院支店ロビーのディスプレイにて放映したのです。





地域を盛り上げたいという共通の想い

職員が登場し、インタビュー形式でお店の話を伺いました。開業までの経緯や、 産地直送である食材へのこだわり、**"食を通じて西院を盛り上げたい"**という オーナーの想いなど、開業をお手伝いした当金庫だからこそ知るお店の魅力 がぎゅっと詰まったこの動画は、来店される多くの方の目にとまりました。



▼○:Ce これからも楽しみに お客さまの声 しています!

> お店に行ってみると動画の通り、 肉の甘みがあり凄く美味しかった です。金融機関がこんなことまで されていてすごい!



窓口で手続きしてもらっている間に、 楽しく見てました。まさか金庫職員 さんが作った動画とは思えないほど のクオリティでしたし、金融機関で 紹介されているお店という

ことで、安心感がありますよね。







第一回目の紹介動画に登場していただいた「肉ば たけ」様は、ご近所でもお店をご存じなかったお客 様もたくさんおられ、お店の周知に繋がりました。 また、「動画を見てお店の背景を知ることで料理へ の関心も高まり、楽しい時間を過ごせた」というお 声もいただき、大変嬉しかったです。

色んな苦労もありましたが、西院支店を通じて お客様同士を繋げることができ、とても良い取組 となりました。

ムービーにご登場いただいたお客様



肉ばたけけ 渡邊亮様 京信の皆さんは、当店のことをよく分かってく れていて、店の魅力をしっかりアピールできる 動画を作ってくれました!画面に映るのは恥 ずかしいけれど、コロナ禍の大変な状況で お店のことを考えてくれる京信さんの姿勢に 感謝しています。



京都市中京区 壬生淵田町1 **6**075-874-1429 西院駅より 徒歩1分

HPはこちら▼



現在第二弾のムービーに着手しており、「西院支店」ならではの本業支援で、 今後さらに地域の活性化に寄与していきます。

ウクライナ避難民の子ども達への 絵本プロジェクト

ロシアの軍事侵攻の影響を受けたウクライナ避難民の 子ども達に、日本の子ども達からメッセージを添えた 絵本を届けるプロジェクトを2022年3月から滋賀大学と ともに実施しました。

平和な日常が戻り、地域の皆様の想いをのせた絵本を手に取った子ども達が、 - 日も早く笑顔を取り戻すことを願っています。



子ども達にとって 大切な支援物資である絵本

何も持たず、ポーランドへ避難した子ども達に とって、絵本での憩いの時間はとても大切です。 避難中は学校に行けない子どもがたくさんいる ので、教育という面においても絵本が重要な役 割を果たしています。







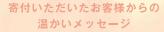
地域のみんなの想いをのせた 絵本とメッセージ

- 66 避難を余儀なくされた子ども達が、絵本で 少しでも明るい気持ちになってほしい
- 66 日本の子ども達に避難民の子ども達のことを 知ってほしい、自らの想いを届けてほしい

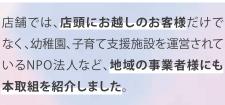
そんな想いで、この絵本プロジェクトをスタート しました。当金庫の窓口等で絵本を募集したと ころ、地域の皆様から671冊もの絵本と温かい メッセージが届きました。中には、自分が大切に していた絵本を「ウクライナのお友だちへ」とい うメッセージとともに持ってきてくれた子もたく さんいました。

なく、幼稚園、子育て支援施設を運営されて いるNPO法人など、地域の事業者様にも 本取組を紹介しました。





- 何か支援をしたいと思っていたので、 きっかけをつくってくれてありがとう!
- 私もウクライナの方に何かお手伝いが できることはないかと考えていました。 一日も早く平和な毎日を送れることを お祈りいたします!





国際輸送物流会社のDHL様を通じ、子ども達の 避難先であるポーランドに絵本をお送りしました。 また、現地の協力者の方を通じてウクライナに もお届けしました。

より詳しい内容は



京信のいちおし ICHIOSHI

当金庫取組紹介 Web サイト

「ICHIOSHI-京信のいちおし」でお届けしています!

発行:京都信用金庫 ゆたかなコミュニケーション室



東桂支店











Cスクエアバックナンバーはこちらからお読みいただけます! Click!